

【不祥事防止に向けた本校の決意】（行動基準）

- 報・連・相・確認・共有の徹底～ひとりで悩まない！～
- 1 私たちは、子供たちを守り、育てます。
 - 2 私たちは、法令を遵守します。
 - 3 私たちは、不祥事を許しません。
 - 4 私たちは、地域に開かれた学校にします。

不祥事根絶のための行動計画

私たちは、**全ての子供たちが**

安全・安心に学ぶことができる教育環境をつくります。



呉市立両城小学校
作成責任者 校長 堀田 由美

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単学級のために、担任としての業務について、それぞれの技量に任されているところがある。 ○ 管理職に対しての報・連・相はできているが、指導・助言後の結果報告（確認）や職員同士の情報の共有は不十分なところがある。 ○ 教職員の多忙感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員同士のコミュニケーションを促進し、相談しあえる体制を作る。 ○ 全児童を全職員で育てることを徹底する。 ○ 報告・連絡・相談・確認を引き続き徹底する。 ○ 情報の共有化を図り組織で対応していく体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後の時間を職員室でのコミュニケーション時間とし、日々の情報を共有する。 ○ 週1回の暮会で、情報を共有し、組織で対応することを徹底する。 ○ 職員室の連絡黒板を活用する。 ○ 児童への指導内容等、確実にメモをとり記録として残す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月に1回の企画委員会・不祥事防止委員会・校内衛生推進委員会等で情報交換を行い、状況を確認する。 ○ 週1回の暮会等で情報を共有する。 ○ 学期に1回管理職による面談を行う。
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行事や業務が集中するときなどに、机上の整理が十分でないことがある。 ○ 体罰、個人情報管理に関して、教職員の危機管理意識に温度差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 机上の整頓を行う。 ○ 児童の個人情報に係るものは、指定された鍵のかかる場所へ保管する。 ○ 複数対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人情報の保管場所について、教職員全体で再度確認する。 ○ 職員室・教室の机上进行きは、日々整理整頓し帰るときには必ず机を片付けてから帰る。 ○ パソコン・デジカメ等、私物を使用しない。 ○ 教室に個人情報に係るものを置かない。 ○ 個人情報を持ち出す場合は、「個人情報持出・返却簿」に必ず記載・提出する。 (①最小限、②報告、③自己管理の徹底) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日、学校を閉める際教頭が個人情報の保管場所を確認する。 ○ 管理職は、「個人情報持出・返却簿」を毎日確認する。 ○ 管理職が毎日定期的に教室等を巡視する。 ○ 個人使用機器申請書で確認する。(更新時)
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の活用が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を毎月行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行事予定表や学校だよりで保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○ 学期末参観懇談会において、相談窓口の案内を校内玄関に掲示するとともに、保護者から体罰、セクハラについて聴取する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年3回、児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。 ○ 月1回の学校だよりやHPで周知する。